



人財の確保・定着、付加価値の適正分配  
ONE TEAMで生活改善を実現しよう

2024年 2月22日

日本鉄道労働組合連合会

## J R 連 合 九 州 地 方 協 議 会 2024 春季生活闘争勝利！総決起集会

J R 連 合 九 州 地 協 は 2 月 1 7 日、福 岡 市 内 で「2 0 2 4 春 季 生 活 闘 争 勝 利！ 総 決 起 集 会」を 開 催 し、加 盟 4 単 組 が O N E T E A M と な っ て 士 気 を 高 め、2 0 2 4 春 季 生 活 闘 争 勝 利 に 向 け た 決 意 を 固 め あ っ た。

集会には、加盟単組（J R 九州労組、J R 西労組福岡地方本部、貨物鉄産労九州地区本部、J R 九州バス労組）の代表者らが結集したほか、21 世紀の鉄道を考える議員フォーラムに所属する城井崇衆議院議員・堤かなめ衆議院議員も駆けつけ、それぞれから連帯の挨拶を受けた。J R 連 合 か ら は 住 吉 一 家 労 働 政 策 局 長 が 参 加 し た。



吉 田 祥 司 議 長

主催者を代表して挨拶した吉田祥司議長（J R 連 合 副 会 長 ・ J R 九 州 労 組 中 央 執 行 委 員 長）は、J R グループを取り巻く情勢について、離職の増加が業績悪化や産業劣化に繋がりにかねないとの懸念を示したうえで、「2 0 2 4 春 闘 に お い て す べ て の 仲 間 の 雇 用 維 持 ・ 創 出 と 人 財 確 保 に よ り、安 心 し て 意 欲 高 く 働 け る 環 境 を 創 ら ね ば な ら ない」との課題認識を示した。そして、物 価 高 騰 へ の 対 応 や 賃 金 水 準 の 目 標 達 成 を 通 じ て 生 活 を 豊 か に し て い く た め、「加 盟 単 組 が 一 致 団 結 し て 2 0 2 4 春 闘 を 闘 い 抜 き、大 き な 成 果 を 勝 ち 取 ろ う」と呼びかけた。

基調講演では、住吉労働政策局長が2 0 2 4 春 闘 の ポ イ ン ト や 取 り 巻 く 情 勢 を 説 明 し、「賃 金 も 物 価 も 安 定 的 に 上 昇 す る 経 済 社 会 へ ス テ ー ジ 転 換 を 図 る た め に は、労 使 の マ イ ン ド の 変 革 が 必 要 で あり、交 渉 に 直 接 関 わ る 役 員 の み な ら ず、組 合 員 一 人 一 人 も デ フ レ マ イ ン ド か ら の 脱 却 に 努 め て ほ し い」と理解を求めた。そして、価 格 転 嫁 や 取 引 適 正 化 の 取 り 組 み の 重 要 性 を 訴 え る と と も に、J R 連 合 は、「労 使 関 係 で は 解 決 で き ない 政 策 課 題 の 解 決」を 通 じ て、労 使 協 議 の 後 方 支 援 や 基 盤 整 備 に 全 力 を 尽 く す こ と を 誓 っ た。

集会の終盤では、J R 西 労 組 福 岡 地 本 の 大 戸 浩 之 書 記 長、貨 物 鉄 産 労 九 州 地 区 本 部 の 小 林 優 太 郎 青 年 部 長、J R 九 州 バ ス 労 組 の 甲 斐 青 空 書 記 次 長、J R 九 州 労 組 の 花 田 祐 希 中 央 執 行 委 員 が 演 台 に 立 ち、そ れ ぞ れ か ら 2 0 2 4 春 闘 に 臨 む 決 意 が 表 明 さ れ た。



左から、大戸書記長、小林青年部長、甲斐書記次長、花田執行委員

最後に、「ONE TEAMで闘い抜き、すべての仲間の幸せを実現する」との決意が込められた集会アピールを採択し、吉田議長の団結ガンバローで閉会した。